

八女学院 広川幼稚園

1、教育理念

「役に立つ人物になれ」

幼児ひとりひとりが将来自立して大人になり人間としてどんな時も生き抜いていくための基礎教育を行います

2、教育目標

- ・挨拶できる元気な子ども
- ・心身ともに健康でたくましく素直な子ども
- ・自分で考え、行動できる子ども
- ・自分を大切にし、友達も大切にできる子ども

3、教育方針

- ・幼児期にふさわしい様々な体験や活動を通して人として生きる豊かな心を健やかな体を育てます
- ・子どもの自発性・主体性を重んじできるだけ自分でできるように見守っていきます
- ・自立、自尊を育める環境を作り、子どものひとりひとりの人格を尊重し、その子の思いや行動を大切に援助していきます

4、各学年重点目標

- ・友達と教師と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ（満3歳児）
- ・友達と一緒に活動する楽しさを知り、自分の思いを言葉や態度で表現する（年少）
- ・友達と関わり、遊びや活動を展開する楽しさや喜びを味わい、充実感を味わう（年中）
- ・人や物と関わる中で様々な感情を体験し、色々な活動を積み重ねることで協調性を身につける（年長）



学校評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目 | 取組状況 | 評価 | | |
|--|---|----|---|---|
| | | A | B | C |
| ・園の教育理念を理解しているか | 年度当初、全職員で確認し職員室に掲示。教育理念のもと保育でできるよう心がけている。今後も意識を持ち、保育を行っていく。 | A | B | C |
| | | 10 | 4 | |
| | | A | | |
| ・園の教育理念を達成する為の保育ができていえるか | 子ども達の興味がわくコーナー遊びを設定し子ども達が自らあそびを深めようとする姿が見られた。今後も工夫した環境作りを意識する。 | A | B | C |
| | | 12 | 2 | |
| | | A | | |
| ・子どもが伸び伸びと行動し、充実感が味わえるように工夫しているか。 | サークルタイム等を通し、子ども達の意見を取り入れる機会を設け「やりたい」という気持ちを引き出すことができた。そのため子ども達の充実感にも繋がった。 | A | B | C |
| | | 14 | | |
| | | A | | |
| ・子どもが進んで戸外遊びでの活動を楽しみ様々な遊びの中で十分に身体を動かすことができるように配慮や工夫がされているか | 午前・午後4ともに戸外での活動を十分に取り入れることができた。また、戸外での様々な活動を考え実践することができた。 | A | B | C |
| | | 14 | | |
| | | A | | |
| ・健康な生活に対して必要な習慣や態度を身につけていけるよう工夫しているか。 | 手洗い・消毒など日々声掛けを行うことで子どもたちも習慣化されている。また、身体を動かすなどの体力作りも行うことができた。 | A | B | C |
| | | 13 | 1 | |
| | | A | | |
| ・子どもが自分で行動することの充実感が味わえるよう援助を行っているか。 | 子どもの考えや行動を尊重し、すぐに仲介に入るのではなく、見守る体制を心がけている。必要に応じて援助することができている。 | A | B | C |
| | | 13 | 1 | |
| | | A | | |
| ・相手の思いや気持ちに気付いていけるような援助や機会を設けているか。 | トラブル等の場面では双方の気持ちを聞きとり、互いに伝え合う機会を大切にしていえる。自分の思いだけでなく、相手にも気持ちがあることを理解できるよう機会を設けている。 | A | B | C |
| | | 12 | | |
| | | A | | |
| ・異年齢とのに関わり中で、愛情や信頼感を持てるよう工夫しているか。 | 縦割り保育等で異年齢と関わる環境を整え、合同で活動を設けることで、年上の子が年下の子を気にかけてたり、憧れを持ったりと遊びの中で関わりができた。 | A | B | C |
| | | 11 | 3 | |
| | | A | | |
| ・環境に親しみ、様々な事象に関心が持てるよう工夫されているか。 | 子ども達の日常会話や流行っていることから抜き出して提案したり、保育内で実践したことを選んだり、隙間時間に常に遊べる環境を作りを行った。 | A | B | C |
| | | 11 | 3 | |
| | | A | | |
| ・遊びや生活の中で数量や文字、図形などに関心を持つ工夫がされているか。 | 数集めゲームや文字探しゲームを通して、興味・関心を持つことができた。また、積木・パズルでより高度な教材を準備することでより興味を深めた。 | A | B | C |
| | | 11 | 3 | |
| | | A | | |
| ・子どもが自発的に活動したり遊べる環境が整備されているか。 | 保育室の一角にコーナー遊びの道具を置くことで子どもたちが自発的に遊びたい物を選ぶことができた。点検したり、補充することで環境整備ができた。 | A | B | C |
| | | 12 | 2 | |
| | | A | | |
| ・子どもの遊びを通し、更に活動が発展するヒントとなる配慮や工夫がされているか。 | 子ども達同士で話し合いが出来る環境を作ったり、縦割り保育をすることで、年上の学年からヒントを得て遊びに取り入れるなど発展できるように工夫することができた。 | A | B | C |
| | | 10 | 2 | |
| | | A | | |
| ・子どもが自分の気持ちを自分なりに表現した時、それを受け止めているか。 | それぞれの表現方法に合わせて時には代弁しながら気持ちを受け止めたり、寄り添ったりすることができた。 | A | B | C |
| | | 14 | | |
| | | A | | |
| ・子ども達自身が友達同士で話し合えるように工夫されているか。 | クラス活動や縦割り保育で話し合う場を提供し、テーマを決めることで自発的に意見を伝える姿を見られた。 | A | B | C |
| | | 13 | 1 | |
| | | A | | |
| ・生活や遊びの中からできた言葉やアイデアが保育に生かされていたか。 | サークルタイム等を通して、子どもたちから出た遊びを保育計画に取り入れて実施することができた。 | A | B | C |
| | | 11 | 1 | |
| | | A | | |

| | | | | |
|--|--|----|---|---|
| ・子ども自身が挨拶の意味を知り、進んで言えているか。 | 朝の挨拶運動は進んで行うことができるが、来園者に対しては進んで挨拶ができなかった。自ら挨拶ができるよう促しを心がける。 | A | B | C |
| | | 5 | 9 | |
| | | B | | |
| ・絵本や紙芝居等の時間や内容を考慮し、工夫して積極的に取り入れているか。 | 帰りの時間に絵本を取り入れることができた。図書室利用も増え、絵本を活用する時間が増えた。 | A | B | C |
| | | 10 | 4 | |
| | | A | | |
| ・子どもの表現しようとする意欲を受け止め、また子どもが様々な表現を楽しむことができるように配慮しているか。 | リズム遊びでの自由な身体表現やなりきり遊びが展開する遊戯など子ども達の表現遊びの機械が多く存在する。 | A | B | C |
| | | 14 | | |
| | | A | | |
| ・活動において様々な感触に触れ、気付いたり楽しんだりできるよう工夫されているか。 | 年間通して感触遊びを目的とした種類、豊富な遊びの計画が実施され子どもたちの人気を集めている。 | A | B | C |
| | | 9 | 5 | |
| | | A | | |
| ・子どもが自由に音や動きで表現する機会が設けられているか。 | 日々の保育の中でリズム遊びや音楽を取り入れ子どもが感じたことを音や動きで自由に表現できる機会を設けている。 | A | B | C |
| | | 10 | 4 | |
| | | A | | |
| ・子ども達が日常的に歌を唄う機会が設けられているか。 | 朝の会・帰りの会・季節の行事を通して子どもが日常的に歌に親しめる機会を設けている。 | A | B | C |
| | | 13 | 1 | |
| | | A | | |
| ・身体を使った様々な表現遊びが取り入れられているか。 | リズム遊びや身体を動かす表現活動を取り入れ、子ども達が身体を使って感じたことを表現できている。 | A | B | C |
| | | 12 | 2 | |
| | | A | | |
| ・子どもの作品で個性が活かされる部分が取り入れられているか。 | 年齢が低くなるほど、保育者が準備し同じ作品が出来、個性を出すのが難しいことが課題である。上の学年においては子どもが想像したものが作品となり、個性をありのまま表現できている。 | A | B | C |
| | | 13 | 1 | |
| | | A | | |
| ・研修会に参加し保育者としての資質の向上を目指しているか。 | 遊びや教育に関する外部の研修を取り入れた。また、園内での研修を行い一人ひとりが資質の向上を目指し努力している。 | A | B | C |
| | | 5 | 8 | 1 |
| | | B | | |
| ・専門的な知識を得て、保育技術を高めるための努力をし、習得したことを実際に保育に生かしているか。 | 園だけでなく、専門機関との連携や専門知識を持った人から得た事を理解し、目の前の子どもの姿を観察しながら、カリキュラムを考え、声かけ・関わり方を考慮し保育を実施している。 | A | B | C |
| | | 7 | 5 | 1 |
| | | A | | |
| ・子どもの様子や育ち・保育などを保護者に分かりやすく伝えるよう工夫しているか。 | 「はぐくむ」やクラスだより・Instagram等でエピソードを加えながら写真や動画を活用視覚的に伝えている。 | A | B | C |
| | | 12 | 2 | |
| | | A | | |
| ・保護者の質問や意見を聞き情報交換をすることにより、幼稚園と家庭が子どもの望ましい発達を促すための生活について考えていけるような連携が取れているか。 | 降園時や連絡帳で家庭での様子や困りどとを受け取り、園での姿と結びつけて返信している。また、個人面談（希望により）を実施し保護者の悩みや質問を丁寧に聞き対応している。 | A | B | C |
| | | 13 | 1 | |
| | | A | | |
| ・小学校と連携を取り、就学前に関する問題などを家庭へ情報提供できているか。 | 近隣の小学校との連絡会や情報交換が実施されている。しかし、全保護者への情報提供は十分とは言えない。また小学校訪問など子どもと小学校との交流の機会も今後の課題である。 | A | B | C |
| | | 8 | 3 | 2 |
| | | A | | |
| ・室内や園庭の安全に関して、定期的に点検・改善を行っているか。 | 室内点検表を用いて、学期末に点検・改善ができている。園庭は破損が見られたら改善を行って」いたが、点検表がなく曖昧なところがあり、今後点検表を作成する必要がある。 | A | B | C |
| | | 10 | 3 | 1 |
| | | A | | |
| ・緊急事態に対して敏速に対応できているか。 | 火災訓練・防犯訓練等絵本を通して子ども達に伝え、避難訓練においても安全に実施できている。また、職員間においても担当を決めるのではなく、それぞれが動けるように訓練を実施している。 | A | B | C |
| | | 10 | 4 | |
| | | A | | |

| | | | | |
|---|--|----|---|---|
| ・薬品の取り扱いに十分配慮しているか。 | 子どもの触れない場所に片付け、配慮をしている。 | A | B | C |
| | | 12 | 1 | 1 |
| | | A | | |
| ・園庭は常に整備されていて、室内は清掃・消毒が行き届き、清潔であるか。 | 保育室には消毒液を常備し、消毒を行っている。トイレ掃除には次亜塩素酸を用いて清潔さを心がけている。モップ交換をしたり、保育室は常に掃除を行っている。 | A | B | C |
| | | 8 | 6 | |
| | | A | | |
| ・保育室は整理整頓が行き届き、安全に配慮した環境にしているか。 | 保育室の掃除はもちろん、玩具の破損や不備がないか職員間で共有したり、チェックリストを作りその都度確認し安全に配慮した環境の維持を行っている。 | A | B | C |
| | | 9 | 1 | 1 |
| | | A | | |
| ・出席簿は毎日記入し、子どもの欠席状況などをしっかりと把握して、欠席児への配慮をおこなっている | 欠席連絡が届いていない家庭には連絡を取り、欠席状況を確実に把握する。出欠を取る際に当日の出席人数を改めて確認する。 | A | B | C |
| | | 13 | 1 | |
| | | A | | |
| ・個々の子どもの心身の状況を把握したり、配慮しながら保育をしているか。 | 登園した際、一人一人と関わり心身の状態を把握し、活動する中で変わった様子があれば体温を測る。話を聞く等をし子どもの気持ちを大切にする。 | A | B | C |
| | | 11 | 3 | |
| | | A | | |
| ・園からの配布物（手紙など）は決められた期日に配布しているか。 | 決められた期日までに配布できるよう手元に届いたらその日のうちに配布できる状態に心掛ける。 | A | B | C |
| | | 14 | | |
| | | A | | |

